

資料7-2 審議会委員意見一覧(基本目標3・4、行財政運営、重点プロジェクト構成、序論案)

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	素案修正の有無	回答(対応内容)
1	前川委員	35	アンコンシャス・バイアスについて、バイアスとは思い込みではなく、偏見のことではないかと思う。バイアスの言葉の意味をしっかりと調べ、言葉の整理をしてほしい。	本日の資料は担当課による回答だが、事務局で調整する。	多様性社会推進課	修正なし	ご意見を踏まえ検討しましたが、国・政府が用いている「アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)」の表記に倣い、現行案のとおりといたしたいと考えております。
2	秋池委員	41	学習機会を増やすことは良いことであるが、生涯学習センターでは講座ありきの募集のようである。講師の立場からの意見をまとめて募集をかけ、市民の応募でニーズをマッチさせる方法を検討してはどうか。市民の知識・経験を活かして、それを他の市民に広げる活動を強化すると良いと思う。		文化生涯学習課	修正なし	具体的な取組提案であるため計画への反映は見送らせていただきますが、事業等の検討に当たって貴重なご意見として参考にさせていただきます。
3	秋池委員	42	紙の文章や本を読む人は減っているかもしれないが、情報収集したい方はいると思う。本ではなくてもIT対応でタブレットを貸すといったことを府中市ではしているか。	タブレットの貸し出しはないが、府中市立図書館では電子書籍貸出サービスを行っている。	図書館	修正なし	審議会でのご回答と同様ですが、情報収集を目的としたタブレットの貸し出しは行っておりませんが、府中市立図書館では電子書籍貸出サービスを行っております。
4	青山委員	44	美術館の普及事業について、起草委員会の指摘に対応して具体的な記載が増えて良かったと思う。		美術館	修正なし	—
5	青山委員	50	元の素案では「障害を持っていたり」という記載があったが、修正によって削除となった。以前の審議会でも、前川委員から医療ケアについても書いてほしいという指摘が出ており、反映されたことは良かったと思うが、「障害」の記載がなくなっており、「発達等の悩み」が適切な表現であるか疑問である。ここで示したいことは「発達障害等の悩み」ということではないか。 私の理解では、前川委員からの発言趣旨は発達障害や障害という言葉が問題であるという意味ではなく、医療的ケアを入れてほしいという趣旨と受け取っていた。	主担当課に共有し検討する。	指導室	修正なし	当該部分は、ご発言の通り、前回審議会において①不登校の裏には発達障害の支援もある、②医療的ケアを必要とする子どもへの支援も必要である、という趣旨のご意見をいただき修正したものです。 ①に係る修正の背景は、発達障害とは言えない又は診断が下りていないものの発達に課題のある子どもを含めるため、「発達等の悩み」という表記に修正を行ったものです。修正前の「障害」という語はなくなりましたが、支援の対象に変更はございませんので、素案は現行案のとおりといたしたいと考えております。【裏面参照】
6	山本委員	53	目指す姿で「子どもと若者」とあったが、今回の修正で「若者」が抜けたのはなぜか。	現在取り組みを進めている市の居場所づくり事業で想定している対象としている。施策内で文言の整理をしたもの。	児童青少年課	修正なし	審議会でのご回答のとおり、現在取組を進めている市の居場所づくり事業で想定している中高生を指す文言であったため、施策内での文言の整理をしたものです。【裏面参照】

資料7-2 審議会委員意見一覧(基本目標3・4、行財政運営、重点プロジェクト構成、序論案)

NO. 5参考

基本施策 5 学校教育の充実

施策 50 学びの機会を保障するための支援の充実

■めざす姿(施策の目的)

全ての児童・生徒が、誰一人取り残されることがなく、安心・安全に学ぶことができ、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための資質や能力を育んでいます。

■現状と課題

児童・生徒、保護者、学校からの教育に係る様々な相談に対して、関係機関と連携して児童・生徒が抱える課題の解決を図っていますが、多様化する課題に適切に対応していくためには、更なる相談体制の充実を図る必要があります。また、近年、不登校児童・生徒が増加傾向にある中で、児童・生徒に寄り添った重層的な支援*が行える環境整備が必要です。現在、市立小・中学校全校において、不登校の未然防止や学校復帰のため、教室以外の場所にサポートルーム*を設置しています。さらに、社会的自立に向けて、学びの多様化学校*を開設していますが、引き続き、不登校児童・生徒の状況に応じて、重層的な支援の充実を図り、適切な支援をしていくことが重要です。

このほかにも、障害を持っていたり、発達等の悩みがあったり、医療的ケアが必要であったりする児童・生徒、また、ヤングケアラーや日本語が話せないなどの児童・生徒が在籍していることから、抱える悩みや課題を把握するとともに、きめ細かい支援に取り組む必要があります。

経済的理由により就学困難と認められる子どもの保護者に対して、国や東京都の動向を注視しながら、適切な支援を行うことが必要です。さらに、健康診断や相談を通じて、児童・生徒の健康づくりに努めていますが、近年、児童・生徒におけるアレルギー疾患が多様化しており、学校生活での配慮や管理にいかすため、児童・生徒の詳細な情報を把握していくことが必要です。

NO. 6参考

基本施策 5 青少年の健全育成

施策 52 子どもの居場所づくりの推進

■めざす姿(施策の目的)

全ての子ども・若者が各々のライフステージに応じた居場所を切れ目なく持つことができています。

■現状と課題

各小学校区22か所に設置された施設で運営を行っている学童クラブ*と放課後子ども教室*が相互に連携し、小学生の放課後の安全・安心な居場所を提供していますが、利用希望者の増加に伴い、特に学童クラブにおいては育成スペースの確保が課題となっています。また、各文化センターに児童館を設置し、地域における児童の安全な居場所を提供しています。

今後は、中学生や高校生世代の居場所づくり等についても、検討を深めていくことが重要です。

■施策の方向性

- 学童クラブ、放課後子ども教室と学校との更なる連携強化に努めるほか、利用者のニーズに応えるICT*技術の活用に取り組みます。また、狭あい化の解消に向け、市内に民設民営学童クラブの参入を促し、学童クラブにおける適性な育成面積を確保します。
- 中高生の居場所づくりについて、既存の公共施設の利活用を検討し、中高生の意見を聴取しながら、推進していきます。

資料7-2 審議会委員意見一覧(基本目標3・4、行財政運営、重点プロジェクト構成、序論案)

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	素案修正の有無	回答(対応内容)
1	前川委員	101	目的の5行目「各主体が相互に連携、協力しながら、府中の新たな魅力や価値を共に創り上げることに積極的に取り組みます。」の「にも」の意味は。	目的の前半の記載に加えて、さらに、ということを示したいものであるが、伝わりづらいというご意見を踏まえ、調整を検討する。	協働共創推進課	修正あり	「協働すること」の推進に加え、協働による「成果」として、「新たな魅力や価値を創り上げることに」とさせていただいたものです。伝わりづらさというご指摘を受け、協働することの更なる推進に加え、「～とともに」と表現することで、後述の成果にもつながるように修正しました。
2	前川委員	101	施策の方向性が上から目線と感じる。市民協働というのは、市が作り上げるものではなく、市民ともに作っていくものだということが書かれていないような気がする。施策の方向性の「市民活動センターや文化センター等を活用し、積極的に市民協働に関する情報を市民に提供し、市民が市民協働によるまちづくりについて理解を深める機会を創出するとともに、地域課題の解決に向けて取り組む主体を増やします。」とあるが、府中市が市民協働に関して十分理解してそれに対して行動しているかというところではない。条例を作ったから市が協働をやっているということにもならない。	条例を機に改めて表現を見直したが、これまでのとみに課題解決に取り組みたいという姿勢は変わらないので、誤解を招かない表現でまとめていきたい。	協働共創推進課	修正あり	市民等に対する市の姿勢を明確にしつつ、やわらかい表現として受け止めていただけるよう修正しました。なお、当該修正(表現をやわらかくしたこと)に当たっては、「主要な取組」に記載のある具体的な記載との重複を避けるよう表記の統一をしました。
3	前川委員	101	この施策で記載されている「市民」、「主体」とは何か。主体を増やすとはどういう意味か。		協働共創推進課	修正あり	「市民」は他施策と同義で府中市民を指し、「主体」については、市民や関係団体など、「意思に基づき行動する人若しくは団体」を意味しています。また、ご指摘を踏まえ、誤解のないように前後の文脈とのつながりや対象者を明確にした表現にそれぞれ修正しました。
4	前川委員	101	主要な取組の4つ目に「市民」が入っていない。		協働共創推進課	修正あり	ご指摘を踏まえ、「市民」を追記しました。
5	前川委員	101	主要な取組の5つ目の「環境の整備」とは何なのか。		協働共創推進課	修正あり	「市民協働に取り組む環境の整備」であり、市民協働に取り組む場や、活用する制度、相談等の窓口などを整えるものと捉えています。ご指摘を踏まえ、環境の整備の説明について追記しました。
6	山本委員	102	デジタル化を推進するのであれば、それを受けて、指標の目標値をもっと上げて良いのではないかと。	算出根拠を確認の上で検討する。	秘書広報課	修正なし	より高い目標を目指す姿勢ではありますが、過去の実績から算出した数値を用いており、着実に向上を目指してまいります。
7	山本委員	103	指標の目標値はもっと意欲的でも良いのではないかと。	算出根拠を確認の上で検討する。	広聴相談課	修正なし	過去の実績値から算出しているものであるため、現行案のとおりとさせていただきたい考えです。
8	長崎委員	103	広聴活動や情報公開のところで、これまでやってきたものからの変化を知りたい。デジタル化やSNSの記載があるが、情報収集するに当たっての媒体や方法のところの変化の記載があまりないと思った。コミュニケーションツールが多様化しているという意味では、SNSやAIの活用といった姿勢を見せることも必要かと思う。	この4年間で専門相談員に対するオンラインでの予約や相談を受け付けるといった変更はあるが、大きな変更はない。	広聴相談課	修正なし	この4年間の新たな取組では、市政世論調査の回答、オンブズパーソンへの苦情申立て、各種専門相談の予約受付にオンラインを導入しました。利用者の状況・希望等に合わせて媒体を選択していただくため、限定した印象で受け取られないよう、施策の方向性には特記しておりませんが、引き続きデジタルの積極的な活用を検討し、広聴活動の推進を図ってまいります。
9	竹内委員	106	「スマート自治体」の用語を使用する経緯を知りたい。注釈を付けるということであるが、イメージを市民がどう共有できるかが重要だと思う。まだ具体的にイメージを持たれていない方も多いのではと思われる中で、「スマート自治体」という用語が施策名称にあることが適切なのか。一方、これまで施策名称に掲げられていた情報セキュリティについて、市民でも心配する方が多いと思う。これが表題にあるかどうかは大事な部分だと思う。	総務省研究会で使われている。現行の取組名よりパッケージで示した方が伝わりやすいと考えた。図なども用いて分かりやすいように工夫したい。	行政経営課	修正なし	注釈や空いているスペースに図を挿入するなど、施策の趣旨が伝わるよう、対応します。
10	竹内委員	106	デジタルに対応できない方や疎い方、デジタルデバイドの関係もあるので、全体的に行政運営の中では、他の施策も含め、透明性や相談のしやすさを重視していただきたい。		事務局	修正なし	貴重なご意見として受け止め、デジタルを使用しない方にも分かりやすく相談しやすい環境となるよう留意してまいります。
11	渡辺(し)委員	106	「根拠(データ)」という表現が2回出てくるが、内閣府の記述では「合理的根拠(エビデンス)」となっている。エビデンスの方が、データも含まれた表現で良いのではと思ったが、ここを「根拠(データ)」とした意味を教えてください。	和訳でなく、具体的に何か、と言う表現になっているが、情報戦略部門にも確認の上で検討したい。	行政経営課	修正なし	審議会でのご回答のとおり、当該部分は「訳」でなく、「例えば具体的に何のことか」と言う表現にしております。国記述と同一の意味を意図してはありますが、市民に伝わりやすいよう、現在の表現にしたものです。
12	秋池委員	106	行政手続きのオンライン化、AIやツールと書いてあるが具体的に何が分からないので事例があった方が良いのではないかと。例えば、AIを活用した窓口案内など。	市民向けの進捗を具体的に示すのは難しい側面があると考えており、行政側の効率向上のツールとしたい趣旨がある。どこまで踏み込んだ記載ができるか分からないが検討したい。	行政経営課	修正あり	現状と課題欄の記載に、具体的な取組内容(AIチャットボットの活用)を追記しました。

資料7-2 審議会委員意見一覧(基本目標3・4、行財政運営、重点プロジェクト構成、序論案)

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	素案修正の有無	回答(対応内容)
13	秋池委員	106	「スマート自治体」というフレームで市が最終的にどこを目指すのか分からないので図示などがあると良い。		行政経営課	修正なし	施策の趣旨が伝わるよう、レイアウトを踏まえた上で図を挿入して対応する予定です。
14	中島会長	106	今後スマート自治体を図示するようであれば、可能な範囲で構成要素として示されると思うので検討してほしい。		行政経営課	修正なし	施策の趣旨が伝わるよう、レイアウトを踏まえた上で図を挿入して対応する予定です。
15	前川委員	107	インフラとは何か内容が分からない。行政目線に感じられ、市民に理解してもらおうという配慮が見られない気がする。	用語集の対応や言い換えを検討する。	道路課	修正なし	本文上の修正はございませんが、注釈対応も含めて分かりやすい表現となるよう調整します。
16	山本委員	107	公共資産というと上物だけという印象だが、公園も入るとしたら、緑を大切にしたいと広い視点に立った文言が入るといいと思った。	公共資産には、公園もインフラの一つである。維持管理では樹木も含まれるが、予防保全に向けた取組として整理している。	道路課	修正なし	具体的には、樹木等の管理については同施策の範囲ですが、緑のまちづくりについては、施策23「公園緑地等の活用促進」においてまとめております。施策のすみ分けに関わらず、実際の市民サービスとしては円滑で一体的な対応を図ってまいります。
17	小山委員	108	以前の審議会でも、歳入増の取組をどう図っていくのかということをしっかり議論し、取りまとめることが必要だと申しあげた。施策108以外で歳入増への項立てがあるのかどうか確認したい。	歳入確保策としては、施策108で取りまとめている。重点プロジェクトに同施策を掲載することで積極的な歳入確保策を行う市の姿勢を示している。	事務局	修正あり	全体としては、施策108、序論、重点プロジェクトで歳入に対する市の姿勢をお示ししてまいります。
18	小山委員	108	歳入増の取組がふるさと納税の活用やクラウドファンディングなどにとどまっておらず、もう少し積極的な取組が必要ではないかと思う。府中市では競艇事業への参入や企業誘致をしながら市の発展につなげてきた。中でも企業誘致は他の自治体でも意欲的に取り組んでいるところがある。府中市の将来的な財政運営を図るのであれば、歳入確保策をもっと充実した記載にしていきたい。		事務局	修正あり	ご意見を踏まえ、施策108では、主要な取組「積極的な歳入の確保」に市税に係る内容や、総合計画に位置付ける各種施策の実現が歳入確保につながる視点を追加しました。また、この施策を改めて重点プロジェクトに据え、市として力を入れる姿勢をお示するとともに、序論の財政見直しにおける記述では、歳入確保及び歳出削減に関する記述を増やしました。
19	秋池委員	108	サービスをできるだけ落とさないように効率的に事業を行うことで支出を抑えるという視点と、歳入を増やしていくという視点がないといけない。歳入確保策という視点では、特に市民税を増やすため、流入してくる市民に対して魅力的な市の運営を行うとか、企業の収益を増やして税収を増やすとか、具体策がないといけないと思う。		事務局	修正あり	ご意見を踏まえ、施策108では、主要な取組「積極的な歳入の確保」に市税に係る内容や、総合計画に位置付ける各種施策の実現が歳入確保につながる視点を追加しました。また、この施策を改めて重点プロジェクトに据え、市として力を入れる姿勢をお示するとともに、序論の財政見直しにおける記述では、歳入確保及び歳出削減に関する記述を増やしました。
20	前川委員	108	目的にはっきりと「長期的視野に立って」だとか「市制施行100年、150年先を見据えて」といった視点があつた上で、持続可能な財政運営というものがあるべきではないか。	長期的な視野を意識したものではありませんと思うの表現は調整を検討する。	財政課	修正あり	長期的な視点も踏まえた施策ではあるものの、その点を直接表現しきれなかったため、施策の目的の冒頭に追記しました。
21	前川委員	108	基金は府中市の貴重な財産なので、もう少しわかりやすく説明があつても良いのでは。	序論で計画の前提条件として載せることも選択肢に分かりやすい表現を検討する。	事務局	修正なし	序論において図表の掲載も含めてお示ししてまいります。
22	秋池委員	108	もっと積極的に増収策、支出削減策の検討必要だと思います。私案は次の通りです。 <増収策> ・他の市からの流入が増える、市としての魅力的な施策＝市民税の増収 (例)さいたま市は中学生英語力日本一！「グローバル・スタディ」の特徴と英語教室7選、これにより流入者が激増 ・法人からの収入の増加策：業績改善支援、M&A促進、従業員への教育 ・競艇場を競馬場並みに女性客がくる施策 ・聖苑で出る貴金属の売却 ・粗大ごみから出る金品の活用 ・郷土の森の入場料UP：値上げ、イベント料金化、市外からの人からの確実な徴収 <支出減策> ・単純作業のIT化 ・職員の生産性向上		財政課	修正なし	今後、持続可能な財政運営を行っていくためには、積極的な歳入確保の視点は非常に重要であると考えますが、歳入を増やす、あるいは減らさない施策を展開するためには、全庁的な取組が必要であり、今後の市全体の施策を見据えた上での検討が必要になると考えております。 なお、具体策の記載は総合計画への反映は見送らせていただきますが、貴重なご意見として参考にさせていただきます。
23	山本委員	進行管理	市民意識調査の委託業者は同じであるか。	委託せずに市で行っている。	行政経営課	修正なし	審議会でのご回答の通りです。

資料7-2 審議会委員意見一覧(基本目標3・4、行財政運営、重点プロジェクト構成、序論案)

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	修正の有無	回答(対応内容)
1	小山委員	重プロ	歳入増の取組について、重点プロジェクトの記載があるということだったが、市の魅力発信に紐づけられており、ふるさと納税の特記となっている。歳入増には様々な取組が考えられるので、施策とあわせて検討してほしい。		事務局	修正あり	施策108主要な取組「積極的な歳入の確保」に市税に関する記述を追記するとともに、これを重点プロジェクト(プロジェクト2「未来を見すえたまちづくり」)の一つとして整理し直しました。
2	秋池委員	重プロ	プロジェクトの次に「目標」とあるが、表現がそぐわないように感じる。目標という、変化が生じるようなときに使うと思う。どちらかという「重点課題」、「重点取組」ではないかと思う。	前期計画では総合戦略の整理で目標と言う言葉を使っており、引き続き階層の名称として使用した。分かりやすい言葉を検討したい。	事務局	修正なし	前期計画重点プロジェクトの枠組みを土台としておりましたが、ご意見を踏まえ、全体の構成を「プロジェクト⇒方針⇒取組⇒具体的な取組」としました。
3	前川委員	重プロ	そもそも重点プロジェクトの構成というのは、計画全体の中で何なのかを考える。前期は総合戦略があったが、後期での位置付けが見えづらい。これまで審議した施策との絡みが分からない。重点プロジェクトを設定する意味は何か。	分野横断的な取組を見せたいものであるが、図表も追加するなど見せ方を整理したい。	事務局	修正なし	審議会でのご回答のとおり、構成や見せ方を整理し、分かりやすい伝え方となるよう調整します。
4	前川委員	重プロ	不登校やはばたきの運営が事業として継続するはずなのに重点プロジェクトではないのはなぜか。	施策の主要な取組としては残っている。	事務局	修正なし	ご指摘の2つを含め、後期基本計画の各施策で引き続き「主要な取組」となっている、重点プロジェクトとして再設定していないものがございます。それぞれ、前期計画期間中に一定の進捗を達成したものと捉えており、全体で数多くある主要な取組の中から、次の4年間で特に力を入れたいと考えるものを改めて選択しております。
5	竹内委員	重プロ	重点プロジェクトとして継続しなくても「介護保険サービス事業者の感染症対策事業」という取組は継続してほしい。		事務局	修正なし	主要な取組としての記載はございませんが、引き続き取り組んでまいります。
6	竹内委員	重プロ	重点プロジェクトとして継続しない事業について、主要な取組として残っているか、どの施策に包含されているという表記があるといい。		事務局	修正なし	構成の資料は、全体像をお示しする基礎資料として、審議会における前期計画との比較用に作成いたしました。実際の計画においては、後期基本計画に対応した重点プロジェクトを中心にまとめる想定です。それぞれの主要な取組がどの施策に包含されるものかが分かりやすいようにレイアウトを調整します。
7	長崎委員	重プロ	「こども」と「子ども」の表記の混在が気になる。	市で用いている表記と国の施策等との兼ね合いもあるが、整理した表現としたい。	事務局	修正あり	「子ども」に統一いたしました。例外として、施策5の「こども家庭センター事業」は、国が用いる用語であることから、平仮名表記としております。
8	長崎委員	重プロ	「みらいを見据えたまちづくり」、「持続可能なまちづくり」とは、具体的にはSDGsや財政の視点等があると思うが、何を表現しているか。「持続可能な」という表現は非常に多岐にわたるものだと思う。	重点プロジェクトとして掲げる「持続可能なまちづくり」に含まれる取組としては、地球環境への配慮や地域公共交通に対する取組で、それらにより、将来的な課題解消につながるという考え方から設定した。	事務局	修正なし	ご指摘の通り、「持続可能な」という表現は様々な分野で使用されるため、表題のみではお伝えしきれない部分があります。これを補足するため、具体で紐づけている「地球環境への配慮」及び「持続可能な地域公共交通」を指す旨を、本文で補足してお示ししたいと考えています。なお、構成上の修正は行っておりません。
9	小山委員	重プロ	先程申しあげたような歳入確保策、持続可能な行財政運営が市の魅力発信の項目に位置付けられている。どちらかという財政上での持続可能なまちづくりという位置付けの方があり得ると思う。市の魅力発信という視点からは趣旨が異なるように感じる。全ての施策は財政が基盤にあって、それぞれの行政サービスが成り立つので、極めて重要な位置づけにあると捉えているので検討いただきたい。		事務局	修正あり	主要な取組「積極的な歳入の確保」について、ふるさと納税の観点から市の魅力発信として位置付けておりましたが、市税に関する記述を追記したうえで、重点プロジェクト(プロジェクト2「未来を見すえたまちづくり」)の一つとして整理し直しました。
10	青山委員	重プロ	本資料では「継続なし」という記載があるが、策定過程で使用されているだけで、計画には出てこないという認識でよいか。		事務局	修正なし	ご発言いただいた通り、重点プロジェクトの体系及び対象となる事業の全体像をお示しするための基礎資料です。この構成を基に素案を作成いたします。
11	青山委員	重プロ	資料6-8の3ページ「不登校対策の充実」が後期への継続が×となっているが、4ページ・5ページを見ると継続となっているように見える。	元々あった「不登校対策の充実」という取組はなくなるが、そこに紐づけられていた主要な取組は、他の取組の一部として整理され、継続する。	事務局	修正なし	審議会でのご回答のとおり、今回お示した構成案では、元々あった「不登校対策の充実」の取組を再設定していないものの、そこに紐づけられていた主要な取組は、他の取組の一部として改めて構成し直しました。そのため、取組で比較すると、後期では設定をしておりませんが、主要な取組は重点プロジェクトとして再設定されております。
12	青山委員	重プロ	資料6-8 5ページの武蔵国府跡地保存活用事業の誤字がある。	修正する。	事務局	修正あり	修正いたしました。

資料7-2 審議会委員意見一覧(基本目標3・4、行財政運営、重点プロジェクト構成、序論案)

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	修正の有無	回答(対応内容)
13	西村委員	重プロ	積極的な歳入確保というところに括弧付でふるさと納税という要素がある故に市の魅力発信という項目に入れたと思うが、幅広く歳入確保に向けた取組をしようということであれば、違うカテゴリとするべきだと思う。		事務局	修正あり	主要な取組「積極的な歳入の確保」について、ふるさと納税の観点から市の魅力発信として位置付けておりましたが、市税に関する記述を追記したうえで、重点プロジェクト(プロジェクト2「未来を見すえたまちづくり」)の一つとして整理し直しました。
14	西村委員	重プロ	前期と比較して、プロジェクト名に漢字が少なくなり、言葉がやさしくなった点を評価したい。その上で、言葉がやさしくなったが故にその解釈への配慮が必要となると思う。例えば、重点プロジェクトのタイトルをメインのキャッチコピーとして捉えるのであれば、サブコピー的なものを入れて考え方を補足できればいいと思う。		事務局	修正なし	ご指摘の通り、プロジェクト名称では内容をお伝えしきれない部分があるため、素案に落とし込むに当たっては、意図するものが伝わるようにリード文で補足をいたします。なお、構成上の修正は行っておりません。
15	西村委員	重プロ	不登校対策はまだまだこれからだと思うので、キーワードを残すことも大切ではないか。居場所づくりとは、本質的なところで被る点もあるが、違うところも十分にあるので一考してほしい。		事務局	修正なし	学びの多様化学校の設置等を踏まえ、後期計画では「不登校対策の充実」にかわって「子どもの居場所づくり」を新しく取組に掲げ、これに不登校対策に係る主要な取組を紐づけ直しております。ご意見のとおり、不登校は非常に重要なキーワードですが、子どもの放課後の居場所づくりが動き出したことから、より広い意味を持つ「居場所づくり」として取りまとめ、守備範囲を広く力を入れたい趣旨で全体的な表現としております。
16	西村委員	重プロ	「充実した教育環境づくり」も、学校施設、いわゆるハード面の記載となっているが、ソフト面についても必要かと思う。		事務局	修正なし	ソフト面については、重点プロジェクトとはしておりませんが、各施策において効果的な展開を図ってまいります。
17	山本委員	重プロ	平仮名が多くて良いが、みらいは漢字でも良いのではと感じた。子ども、けやき、表記がバラバラなので統一が良いのでは。		事務局	修正あり	プロジェクト名は、やわらかい表現とするためキーワードを平仮名表記しており、プロジェクト同士の統一感を持たせたい意図があります。NO.7ご回答のとおり、子どもの表記は整理いたしました。けやきについては、お示ししたい内容により平仮名・カタカナの使い分けをしているため、注釈等も用いながら、分かりやすい表現となるよう留意してまいります。
18	山本委員	重プロ	持続可能な文言は、立場によって意味合いが違うと思うので、計画中で用いるのは難しいと思う。		事務局	修正なし	ご指摘の通り、「持続可能な」という表現は様々な分野で使用されるため、表題のみではお伝えしきれない部分があります。これを補足するため、具体で紐づけている「地球環境への配慮」及び「持続可能な地域公共交通」を指す旨を、本文で補足してお示ししたいと考えています。なお、構成上の修正は行っておりません。
19	長崎委員	重プロ	障害の「害」の表記について、国でも議論されていると思うが考えてほしい。		事務局	修正なし	貴重なご意見として受け止めました。
20	秋池委員	重プロ	やはり目標の定義が一般とは異なります。 一般的な定義は次の通りです。 「目標とは、目的を達成するために、具体的な結果や成果を示す指標のことです。個人的な目標、ビジネス上の目標など、様々な場面で設定されます。目標は、目的を達成するための道しるべとして、行動や取り組みの方針を明確にし、モチベーションを高める役割を果たします。」 <私の代案> プロジェクト:分野横断的な取組 重点項目:各プロジェクトにおいて柱になる項目 取組:重点項目を構成する具体的な項目 主要活動:取組の具体的内容		事務局	修正あり	NO.2のご回答と同様です。

資料7-2 審議会委員意見一覧(基本目標3・4、行財政運営、重点プロジェクト構成、序論案)

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	修正の有無	回答(対応内容)
1	秋池委員	序論	P.2の進捗状況の評価は前期の目標に対しての達成度を評価しているのか。前期はまだ終わっていないが、見込みとして出しているのか。	指標を立てているが、評価は達成状況等だけではない。前期は終わっていないが、毎年度実施している行政評価を反映させるので、計画には令和6年度の最新の状況が掲載される。	事務局	修正あり	当該評価は、計画の進行管理のため毎年度実施しており、当該時点における指標の実績に外部要因の影響等も踏まえて主管部課により判断しているものです。 なお、ご指摘を踏まえ、次のとおり見直しを行いました。 【見直し内容】後期基本計画の施策内容は、各主管部課において様々な要素を加味して検討しており、当該評価のみが要素ではないこと、また、前期計画の最終年度の評価が掲載できないことから、本項目は削除することとします。また、行財政運営の進行管理において包括的に示示することといたします。
2	秋池委員	序論	前期で掲げていた目標よりも、後期の方が目標値が下がっているものがある。目標の下方修正に対して、評価の整合性は取れているか。	計画を下回る成果となった施策が恣意的に目標値を下げていないか、といった懸念と受け取った。整合性も含めて事務局で確認する。	事務局	修正なし	目標値は、主管部課において、施策の進捗状況や将来見通しを踏まえ、改めて設定したものです。
3	前川委員	序論	全体的に文章がこなれていない。内容についてもこれからもっと書き込みがなされるものと思う。		事務局	修正あり	表記の揺れや語尾を統一いたしました。どこまで踏み込んだ記載にするかは、計画の序論であることから全体的な記載にとどめ、具体的な課題及び市の取り組む方向性については、各施策でお示しするものと整理しております。
4	前川委員	序論	コロナから先を見通した文章になっているか。アフターコロナでこれから先どうなるか、物価高騰など予想できない部分があるが、そうした状況に対して、市は何をしていくべきかということを経験した中で議論してきたと思う。そうしたことを序論に前面に出した方が良いのでは。		事務局	修正あり	ご指摘を踏まえ、これまでも増して将来の見通しが難しい旨を「市政を取り巻く状況」の冒頭に盛り込むこととします。
5	前川委員	序論	SDGsとの関係の本文において、事業者と市民の記載順を逆にしてほしい。		事務局	修正あり	修正いたしました。併せて、同様の観点を踏まえ、「地球環境への配慮」の項目における記載も順序を入れ替え、整合性を図りました。
6	前川委員	序論	7ページ 少子化の進展への対応というのは非常に問題であるが、プレコンセプションケアから大事なので入れてほしい。子どもが生まれる前の段階から府中市は誰にとっても住みやすいまちであることを示すような施策があるので、出産と子育て支援だけが少子化対策ではないということを示してほしい。		事務局	修正なし	序論として、地方自治体に求められる内容を全体的な表現でまとめていることから、「安心して子どもを産み育てることができる環境」という表現において、プレコンセプションケアを内包するものと整理しております。 プレコンセプションケアは非常に重要な観点であることから、後期計画では施策5に新しく盛り込み、推進を図ることとしております。
7	前川委員	序論	将来に向けて基金をしっかりと管理していることをもっと伝えるように書いてほしい。前期のように図示も良いと思う。		事務局	修正なし	現行計画P.22でお示ししている基金残高のグラフを更新し掲載する考えです。
8	中島会長	序論	VUCA時代といわれている昨今、未来が見通せない時代になってきている時代背景も含めて検討いただきたい。		事務局	修正あり	ご指摘を踏まえ、これまでも増して将来の見通しが難しい旨を市政を取り巻く状況の冒頭に盛り込むこととします。
9	山本委員	序論	20ページ中段 ロシアによるウクライナ侵攻等に伴う物価の高騰とあるが、それだけではなく、増税の影響が大きいように感じている。		事務局	修正あり	物価高騰の背景となる様々な原因をすべてをお示しすることは困難なため、「等」と表記をしております。なお、ご意見を踏まえ、より広いニュアンスでお伝えするため、「ロシアによるウクライナ侵攻等を契機とした」という表現に改めます。
10	青山委員	序論	前期基本計画の進捗について、計画を下回る結果となった部分に触れられておらず、評価の示し方として弱いという印象を受ける。実際の外部評価の仕組みを理解していないが、この表を見る限りは主管部課による評価結果になっているのではと思った。計画を立てて終わりではなく、しっかりと評価もしているということを示すべきだと思う。		事務局	修正あり	本計画の進行管理として、行政評価(施策評価及び事務事業評価)を行うことを明記しており、こちらで包括的に示示することといたします。
11	青山委員	序論	27ページ「公共施設やインフラの整備を進めてきました。」と併記するのは良いが、次の行ではなぜ「公共施設等」と丸められたか。何か所も出てくるならまとめるのも分かるが、しっかり意味が伝わるように明記しても良いのではないか。	表現を検討する。	事務局	修正あり	ご指摘を踏まえ、全体的に表現を整理しました。
12	市川委員	序論	9ページ 地球環境への配慮というところで、政府がやっているからやっているという見え方である。市としてどのような考えで取り組んでいくかが読み取れないので、記載した方が良いと思う。		事務局	修正なし	全体の構成としては、序論で社会課題を整理し、計画で市の考えや施策の方向性をお示しするものとしております。構成が分かりづらかったことに起因するご指定であるため、社会潮流と市の情報に大きく区分けし、構成を見直しました。

資料7-2 審議会委員意見一覧(基本目標3・4、行財政運営、重点プロジェクト構成、序論案)

NO.	委員	施策	意見等	審議会での事務局回答	担当課	修正の有無	回答(対応内容)
13	竹内委員	序論	24ページ 財政見通しの下に過去の歳入歳出のグラフや表があったりすると見やすいのでは。再掲となる場合には兼ね合いもあると思うが、分かりやすい表現を検討してほしい。		事務局	修正なし	ご意見を踏まえて、レイアウト上調整が可能な場合には再掲も含めた調整を行います。現段階では修正に至っておりません。
14	中島会長	序論	社会潮流と課題では、府中市の立ち位置や状況が分かりづらい印象を受けたことから、踏み込んだ記載が良いのではという意見が複数出たように思うが、市の考えはどうか。	計画策定前の前提条件をまとめるものとして序論を置いている。	事務局	修正あり	全体の構成としては、序論で社会課題を整理し、計画で市の考えや施策の方向性をお示しするものとしております。構成が分かりづらかったことに起因するご指定であるため、社会潮流と市の情報に大きく区分けし、構成を見直しました。
15	秋池委員	序論	総合評価評点はいくまで、目標(KPI)の達成度のみで評価すべき (例)目標比10%以上達成、目標達成、目標未達、目標より10以上未達 何故なら、目標は意識調査結果、市民の参加率等、市民サイドからみた評価になっているから。 皆さんが活動でどれだけ工夫や努力したかは、賞与等内部評価時に勘案するもので、いくら一生懸命やっても市民サイドから評価されなければ、やっていることを変えて成果がでるようにする、或いは改善策がないなら予算が厳しくなっていく中で縮小対象とすべき 自分たちがやっていたことを正しく評価することで、課題が明確になり、改善すなわち明日につながっていくと思います。 結果が良くなっていないのに、「順調に進捗している」との評価は、市民の公僕としての正しい姿ではありません(自分や自分の部署を良く見せたい気持ちは分りますが)		事務局	修正なし	行政評価に当たっての貴重なご意見とさせていただきます。